

見えるお金と見えないお金

買い物の達人への道



私たちは、生活に必要なモノやサービスにお金を払って買っています。「見えるお金（現金）」だけでなく、「見えないお金」も上手に使えるようになるために、「知っておきたいこと」をしっかり学んで、買い物の達人を目指しましょう！

ねん 年 くみ 組 ばん 番 なまえ 名前

探してみよう！ 生活にかかるお金

ワーク 1

部屋の中でお金がかかっていると思うモノに ○ をしよう。



いろいろなモノやサービスにお金がかかっていますね。「入るお金（収入）」には限りがあるので、何に使うかよく考えて「出ていくお金（支出）」とのバランスを考えることが大切です。

ふり返ってみよう！ 買い物するときに考えたいポイント

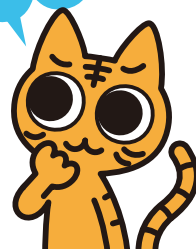
買い物には、たくさんの“考えたいポイント”がかくされています。ふだん買い物で気をつけている項目の □ に ✓ をしてみましよう。

- 必要なモノか 情報を集める 環境への影響 長く使えるか



※将来の世代の人たちも必要なモノが手に入るように、限られた資源の使い方を考えよう！

支出が収入を上回らないように考えなくちゃ



消費生活キャラクター ニャン吉

契約 (売買契約) ってなんだろう？

お店で買い物をするとき、私たちはお店と「契約 (売買契約)」をしています。「契約」とは、法律上、守らなければいけない約束の約束のことです。

契約 (売買契約) が成立するのはどの場面？



ワーク
2

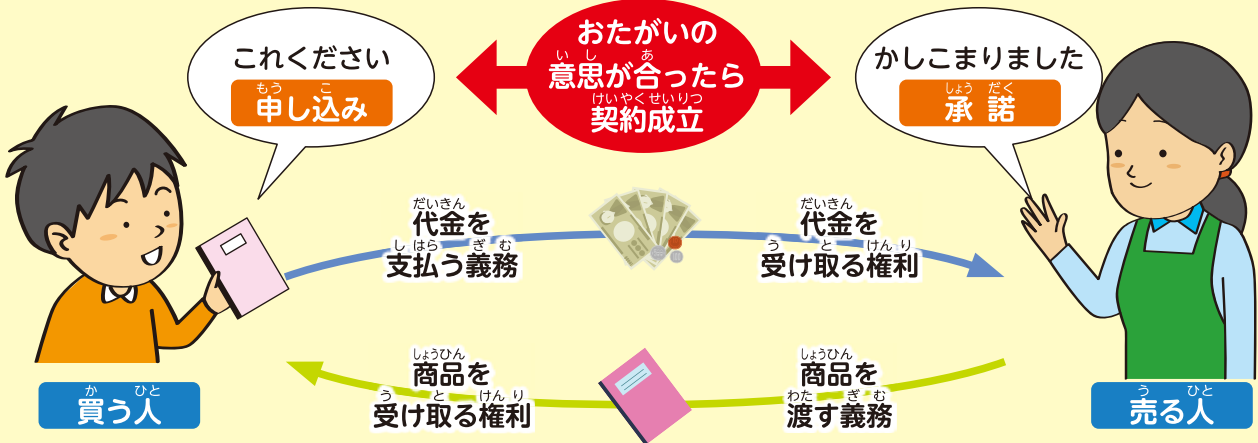
契約が成立したと思う場面の番号に ○ をつけよう。

<p>1</p>	<p>2</p>
<p>3</p>	<p>4</p>



契約は簡単になかったことにできない！

契約が成立したら、「新しいノートが必要なくなったから買うのをやめた」など、一方的な理由で、契約をなかつたことにはできません。契約がいつ成立するのか理解して、よく考えてから買うようにしましょう。



買い物で失敗してしまったとき、困ったときは、大人に相談しよう

- おうちの人や先生など周りの大人に相談する
- 消費生活センターに相談する 消費者ホットライン☎188 (局番なし)

※ 消費生活センターでは、消費者からの相談を受け付け、トラブルを解決するための手助けをしています。



「見えないお金」 いろいろな「お金」のカタチ

「お金（現金）」以外のものを使って代金を支払っているところを見たことはありませんか。「見えないお金」には、さまざまなカタチがあり、「見えるお金（現金）」と同じ役割をしています。

ワーク 3

下の①～④の「見えないお金」を分類してみよう。

① 電車やバスに乗る時に



② スーパーなどで



③ インターネットで



④ コンビニエンスストアなどで



番号	見たい目	特徴
	<ul style="list-style-type: none"> ●カード アイシーがた IC型 プリペイドカード 	<ul style="list-style-type: none"> ●事前にお金をカードにチャージ（入金）しておき、支払いの時には端末にタッチして使用する。 ●カードの中にあるICチップに、お金の出入りが記録される。
	<ul style="list-style-type: none"> ●カードなど サーバ型 プリペイドカード 	<ul style="list-style-type: none"> ●識別番号が記入されたカードなどを購入する。 ●識別番号をウェブサイトに入力するなどして使用する。
	<ul style="list-style-type: none"> ●スマートフォンなど QRコード 決済 	<ul style="list-style-type: none"> ●事前にお金をチャージしておき、支払いの時にはスマートフォンでQRコードを読み取ったり、スマートフォンに表示されたQRコードを提示して使用する。

※「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

見たことあるかな こんな支払い場面



いろいろな支払い方法があるんだね

ポイントカード

支払いに使うこともできますが、つかえるお店と使えないお店があります。



クレジットカード

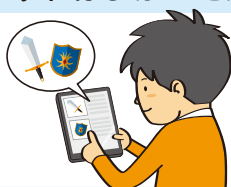
お金を借りて買っているようなものです。小学生が作ることはできません。



どうすればよかった？ 本当にあった「見えないお金」のトラブル例

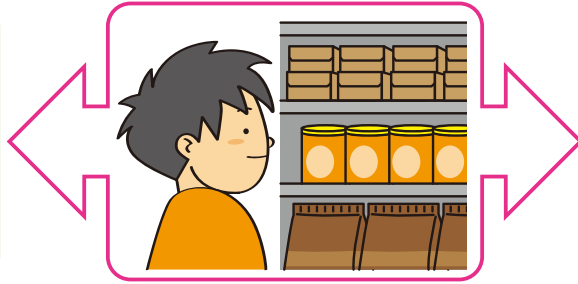
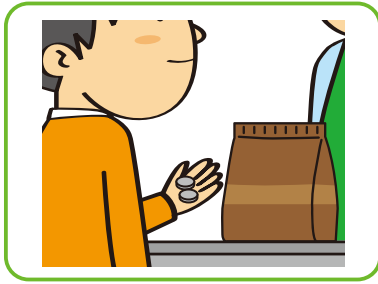
おうちの人のタブレットを使ってゲームをしているが、なかなか敵を倒すことができない。友達に聞くと、ゲーム内のショップにあるアイテムを使えばいいと教えてもらった。アイテムをたくさん使って敵を倒すことができたが、しばらくして、おうちの人の人から「10万円もお金を使っている！」としかられてしまった。

どうすればよかったか考えてみよう。



どこが違う？ 「見えるお金(現金)」と「見えないお金」

いろいろなお金のカタチがありますが、「見えるお金(現金)」とプリペイドカードなどの「見えないお金」はどこが違うのでしょうか。



ワーク 4

「見えるお金(現金)」で支払う場合と「見えないお金」で支払う場合の、それぞれの長所や短所を考えてみよう。



	長所	短所	使う時に気をつけたいこと
見えるお金			
見えないお金			



18歳で成人になる子どもたちの保護者の方へ



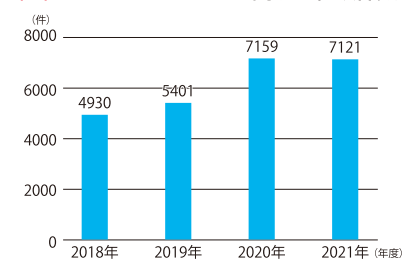
コロナ禍でキャッシュレス化がいつそう進み、子どもたちがプリペイドカードなど「見えないお金」を使う機会が増えてきました。「見えないお金」は便利である反面、現金のようにお金が目に見えて減らないため、使った感覚を得にくいものです。

また、子どもによるオンラインゲームの課金に関する相談件数は、増加傾向にあり(図)、最近は動画配信への投げ銭(※)の相談も寄せられています。これらも「見えないお金」です。子どもが保護者のクレジットカード情報やキャリア決済を利用して、勝手に課金してしまうケースがみられるため、使い方について家庭でよく話し合う必要があります。

「見えないお金」は、目で見て管理することが難しい反面、現金と異なりデータが残るものです。こうしたデータ(数字)でお金を管理できるよう、小学生の頃からおこづかい帳でお金の出入りを記録し、使い方を振り返り、次に活かす習慣をつけていくことが大切です。

今の小学生は18歳で成人になり、クレジットカードなどで借金もできるようになります。小学生の頃から慣れ親しんだ「前払い」のキャッシュレス決済をクレジットカードと紐づけることで、使ったお金を容易に「後払い」にすることが可能になります。「見えないお金」を使いすぎることなく、上手に使いこなせる大人になるよう、よりよいお金の使い方について考える機会を子どもに与えたいものです。無駄遣いとは何かをともに考え、子どもの成長を温かく見守っていきましょう。

(図) オンラインゲームに関する相談件数



(独立行政法人国民生活センター 2022年12月31日現在の相談件数をもとに作成)

※スマートフォンやタブレット等でライブ形式の動画を配信したり、視聴したりする「ライブ配信サービス」の多くは無料で利用できますが、ライブ配信者を応援したり、ライブ配信者に自分を認識してもらったりするための「投げ銭」という課金機能があります。

学ぼう！ “お金”を管理する方法

買い物をしたときは、買ったモノやおつりをレシートで確認するだけでなく、おこづかい帳などでお金の出入りを記録し、よい使い方ができたか、ふり返るようにしましょう。

特に、「見えないお金」は、目に見えてお金が減らないため、お金の出入りを管理し、使いすぎに注意することが必要です。

500円チャージ（入金）したプリペイドカードでおやつを買った場合の“お金”の管理方法を学びましょう。

ワーク 5

レシートを見て、A～Gの内容が書かれているところを〇で囲み、それぞれの項目の●とつなげよう。

スーパー ニャン吉
 〒XXX-XXXX
 神奈川県XXX市XXX△-○
 電話番号 XXX(XXX)XXXX

領収書
 20XX年9月15日

チョコレート	¥108
キャンディー	¥97
クッキー	¥129
せんべい	¥108
合計	¥442
(内消費税)	¥32)

Kanaco 番号 *****
 Kanaco 残高 ¥58
 今回ポイント 2p
 ポイント残高 103p

- **A** お店の名前、住所、電話番号
- **B** 買った日付
- **C** 商品リスト
(買ったモノと、それぞれの金額)
- **D** 合計
- **E** 内消費税など(払う税金の金額)
- **F** プリペイドカードの番号
- **G** プリペイドカードの残高
- プリペイドカードのポイント
- プリペイドカードのポイント残高



ワーク 6

上のレシートを見て、お金の出入りを記録しよう。

日にち	なんで (もらった・使った)	入ったお金 (収入)	出たお金 (支出)	残ったお金
9/10	おこづかい (おやつ用にチャージ)	500円		500円
	合計	円	円	円

ポイント

- 何に使ったか忘れたときは「なんで (もらった・使った)」に「不明」と書いて、金額を記入しましょう
- 最後に「入ったお金 (収入)」、「出たお金 (支出)」、「残ったお金」の「合計」をそれぞれ計算し、お金の使い方をふり返りましょう



「おこづかい帳」がダウンロードできます ▶

考えてみよう！ お金の使い方と買い物

ワーク 7

下のケース ① ~ ④ を読んで、お金の使い方について考えて記入しよう。

ケース ①

おじいさんから
図書カードをもらった。
自分は本を読まないで、
友達にあげたら、
おうちの人にしかられた。



どうすればよかったかな？

ケース ②

電車に乗ろうとしたら、
プリペイドカードの
残額が不足していて
改札を通ることが
できなかった。



どうすればよかったかな？

ケース ③

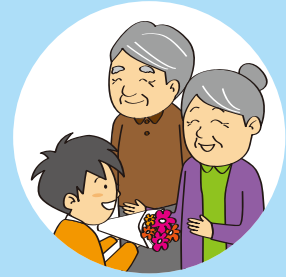
自分で選んで買った
えんぴつを最後まで
使い切ることができた。



どう感じたかな？なぜそう思ったのかな？

ケース ④

おこづかいをためて、
おじいさんとおばあさん
にお祝いのお花を
プレゼントしたら、
とても喜んでくれた。



なぜ喜んでくれたのかな？

まとめ

お金や買い物について理解できた項目の に をしよう。

- 収入の中から、いろいろなモノやサービスにお金を支払っていることがわかった。
- 買い物は契約（売買契約）なので、よく考えてから買わなければいけないことがわかった。
- 「見えるお金（現金）」だけでなく、プリペイドカードなどの「見えないお金」も同じように、大切に使うことがわかった。
- 買い物をしたら、お金の出入りを記録し、買い物をふり返るとよいことがわかった。

